

すわみつえ通信

No.306 2024年3月4日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

▶ 鴻巣市議会3月定例会 ◀

新・教育長に現・教育部長が決定

教育委員会は首長からの独立性が求められる制度です。政治や行政によって教育が歪められ、子どもたちが戦場に送られた歴史の教訓に基づいたものです。憲法が保障する教育の自由と自主性をしっかりと守り、子どもたちの教育を受ける権利を守るのが教育長の役割であると思います。

教育長に任命された現・教育部長はこの間、住民の十分な合意が得られない中で学校統廃合を進めてきました。

また、2019年の「いじめ重大事態」の10回の調査委員会議事録を作成していないという大きな問題を起こしています。

市長の「行政で培った優れた行政手腕と卓越した指導力を発揮しながら、本市の教育における諸課題に積極果敢に取り組んでいただけるものと期待して」という任命の理由には納得がいきません。

日本共産党は教育長任命の議案に反対をしました。他に、西尾議員・羽鳥議員も討論を行い反対を表明しました。賛成討論はなく、賛成多数で可決しました。



日本共産党の代表質問を行う

並木市長の「市政方針及び予算(案)の大綱」について、2月28日に日本共産党を代表して6項目を質問しました。2項目について答弁の一部を報告いたします。

○非核平和宣言都市として平和への新たな取組は

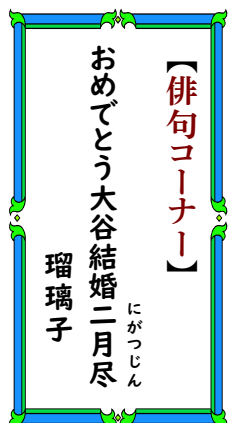
答弁は「『平和祈念メッセージ』『夏休み平和スタンプラリー』『鴻巣平和展』の3つの平和事業を実施しています。令和6年度も既存の3つの事業を中心に平和事業を実施してまいります」というものでした。予算は平和事業12万1千円と数年変化なしです。

ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルのパレスチナガザ地区でのジェノサイドで世界は停戦を求め平和を希求しています。新市長による新たなメッセージを発信すべきではないでしょうか。

○小中学校給食費完全無償化の取組は

答弁は、「年間約4億2千万円の多額の財政負担が生じることになります。現時点では考えておりません。」というものでした。

給食費完全無償化は、全国的に広がっています。現在、250を超える自治体で無償化が進んでいます。鴻巣市は第3子以降のみ無償の予算としました。子ども7人に1人が貧困と言われています。他市を参考に全ての小中学校の給食を無償にしてほしいと思います。



おめでとう大谷結婚二月忌
にがつじん
瑠璃子

【俳句コーナー】

吹上・あたらしやさん 吹上..【さくらうどん】の完成記念発表会

吹上駅前の「あたらしや(うどん店) 創業1957年」さんが、埼玉県のさくら百選に選ばれている吹上元荒川のさくらをイメージして、日本の誇るさくらを未来につなげたい思いで企画した吹上「さくらうどん」の完成記念発表会が2月29日、鴻巣市商工会館で開催されました。参加された共産党後援会の方から美味しかったとの話を伺いました。



●販売期間: 3月10日~4月14日 1日20食限定
花見の季節にぴったり。左の写真のうどんの色はピンクです。
うどん単品、うどんセット(2種類)などがあります。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

日本共産党 2024

春のつどい

とき 3月24日(日)

13:30 開場 14:00～16:00

ところ クレアこうのす 3階 大会議室 A・B

第1部 = お話し =

嘉藤敬佑氏

しんぶん赤旗社会部記者

第2部 = 国政報告 =

塩川鉄也衆議院議員

怒 国民に物価高、増税
自民党は
裏金づくりで脱税。
岸田首相もパーティーで企業に依存。
5年で37回、6億5千万円超

パー券収入脱法的隠ぺい
2500万円分不記載
岸田派など主要5新聞
共産党「しんぶん赤旗」が
連続スクープ

あなたのまちから

自民党政治を変えよう

「ひどい政治を変えるにはどうする?」——解決策を提案して、国民の願いで一致する政党・団体・個人と共同して政治を変えるのが日本共産党です。

日本共産党

能登半島地震 災害救援募金

にご協力ください

被災者に **住宅再建
産業復興**
よりそう支援を



日本一誇る駄菓子売場、まるでテーマパーク 岡山、テニスコート10面分に圧巻5千種類

「日本一のだかし売場」と名付けられた店が岡山県瀬戸内市にある。テニスコート10面分の広さの店に並んだ商品は、駄菓子を中心に5千種類。岡山駅から車で約40分と利便性は決して良くないが、約500台分の駐車場がほぼ埋まることもあり、店に入れば目移り必至だ。

たばこの形を模した「ココアシガレット」や「ヤングドーナツ」などの定番商品をはじめ、アイスクリーム味のガムといった変わり種や、菓子パッケージの柄をあしらった雑貨も。

店を運営する「大町」は1952年、菓子卸業として創業したが、食品の価格競争が年々激しくなり、卸業だけでは先行きが見通せなくなった。経営の一助にと2011年、菓子を保管していた大型倉庫の一角で直売を始めると、珍しい品ぞろえで評判に。「もっと子どもを喜ばせたい」との一心で商品を次々と増やし、店も拡張。15年から「日本一」の看板を掲げ、今では倉庫の大半が売り場となった。

交流サイト(SNS)でも注目され、昨年の来客数はおよそ100万人。親たちも楽しめるよう、大人の目線に合わせて棚の上の方にラーメンや酒類を並べる。「子どもは初めて見るお菓子を、大人はその懐かしさを楽しんでほしい」と秋山社長。目指すのは、「3世代のテーマパーク」だ。

(共同通信 2月22日付)

